

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Java III	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	6 単位	
学 年	2年次	時間数	120 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Javaのサーバーサイドプログラミングについて学びます。 JSP & サーブレットの仕組みを理解し、環境を構築し、実際にWebシステムの開発作業を通して、実践に近いシステム作りのノウハウを学習します。			
到達目標	Servlet と JSP を利用したサーバ側のアプリケーション開発ができる。 Tomcat の仕組みを理解し、アプリケーションをデプロイすることができる。 eclipse を活用したWebアプリケーションの開発ができる。 データベースにアクセスすることができる。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP新版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	サーブレットとJSPの基本概念		
	2	サーブレットの作成手順		
	3	サーブレットの作成手順		
	4	web.xml と 文字のエンコーディング		
	5	フィルターの実成方法		
	6	HTTPプロトコルのGET及びPOST処理		
	7	アノテーションの利用とHEADER情報の取得		
	8	JSPの実成方法		
	9	JSPの実成方法		
	10	サーブレットとJSPの連動		
	11	サーブレットとJSPの連動		
	12	Eclipseによる開発		
	13	Webアプリケーションの状態管理		
	14	EL式とカスタムタグ		
15	データベースの操作演習			
授業の進め方・履修の心構え	Java言語を利用したWebアプリケーション開発の技能を身に付けることを前提とします。Tomcatを使用し、実際に演習しながらWebアプリケーション開発の基礎知識を学んでいきます。			
目標資格	基本情報技術者試験 (プログラム言語分野) Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	ネットワーク基礎	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ネットワークに関する基礎知識から始め、組織の規模等に応じた適切なネットワーク構成や、機器配置について、セキュリティ面を意識しながら学習していきます。また、ネットワークを学習するうえで必要不可欠なサーバについても、「サーバ基礎」で学習する前段階としての必要な知識を併せて学びます。			
到達目標	ネットワークについての基礎知識の習得、サーバやセキュリティとの関わりの理解			
教科書・教材	おうちで学べるネットワークのきほん／(株)翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	ネットワークの基礎		
	2	ネットワークの基礎		
	3	自宅や会社のネットワーク		
	4	ネットワーク構成について		
	5	ネットワーク構成について		
	6	IPアドレスについて		
	7	IPアドレスについて		
	8	DNSについて		
	9	DNSについて		
	10	TCP/UDPについて		
	11	TCP/UDPについて		
	12	スイッチ・ルータについて		
	13	ネットワークセキュリティについて		
	14	ネットワークセキュリティについて		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	SQL演習 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	SQL文だけではなく、実際にある身近なものをデータベース化するための設計手法を学び、上流工程であるデータベース設計を習得します。			
到達目標	SQLについては、DB環境でのコマンドタイピングではなくプログラムからの制御方法を身に付け、データベース設計のテーブル仕様書が作れることを目標とします。			
教科書・教材	データベースとSQL/ (株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	MySQL環境確認		
	2	SQL文基礎確認①		
	3	SQL文基礎確認②		
	4	SQL文基礎確認③		
	5	テーブル設計手法①		
	6	テーブル設計手法②		
	7	テーブル設計手法③		
	8	E-R図作成手法①		
	9	E-R図作成手法②		
	10	テーブル設計総合演習①		
	11	テーブル設計総合演習②		
	12	テーブル設計総合演習③		
	13	テーブル設計総合演習④		
	14	設計説明会①		
15	設計説明会②			
授業の進め方・履修の心構え	教科書とオリジナルテキストで進めていきますが、合間で基本情報技術者試験午後問題を抜粋して設計に関わる問題を解いてもらいます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成状況			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	システム検証Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	実際の業務現場では、新規開発案件よりも既存システムを流用して拡張していくことが多いのが実情です。そこで、本科目では、出来上がったシステムを検証し、より良いものにするという方向の開発作業を実践していきます。			
到達目標	アプリケーションの問題点を発見し、修正できる。 上流工程の理論を理解する。 各設計書（仕様書）を読み解き、簡易なコンソールアプリケーションの設計ができる。			
教科書・教材	オリジナル			
授業計画	回	内容		
	1	開発関連の用語、開発手法や開発の流れの理解		
	2	簡易なコンソールアプリケーションの分析		
	3	問題点の抽出（テストを含む）		
	4	入力データの整合性チェック		
	5	改造方法の提案と仕様の変更		
	6	仕様通りのコーディング		
	7	【実習】 Webベースでのプログラムの分析		
	8	【実習】 仕様の作成		
	9	【実習】 仕様の作成とレビュー		
	10	【実習】 コーディング		
	11	【実習】 コーディング		
	12	【実習】 単体テスト		
	13	【実習】 仕様の修正		
	14	【実習】 コードの修正		
15	実習結果発表 単位認定試験			
授業の進め方・履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・他科目との進捗を考慮し、コンソールアプリケーションの分析と改造で基本を知り、Webアプリケーションへと応用していく ・ユーザー（利用者）側に立ってアプリケーションを考えながら受講する 			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	マネジメント II	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	プロジェクトマネジメントについての体系的な知識の概要を理解し、企業の経営戦略およびIT戦略を立案、これを遂行するための実践力を学びます。			
到達目標	IT関連業務の全容を把握し、マネジメントしていくための手法を習得することを目的としています。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	マネジメントとは		
	2	プロジェクトとは		
	3	システム開発とは		
	4	経営・システム戦力とは		
	5	仮想会社へのヒアリング①		
	6	仮想会社への企画提案① (立案)		
	7	仮想会社への企画提案② (資料作成)		
	8	仮想会社への企画提案③ (資料作成)		
	9	プレゼンテーション		
	10	プレゼンテーション		
	11	チーム① (立案、資料作成)		
	12	仮想会社への企画提案② (立案、資料作成)		
	13	仮想会社への企画提案③ (立案、資料作成)		
	14	プレゼンテーション①		
15	プレゼンテーション②			
授業の進め方・履修の心構え	オリジナル課題を使うのでわからないことは率先して聞いてください。企画力・提案力・発想力を付けるため、様々な自由な発想をして欲しいです。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成状況			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	Webマーケティング	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	マーケティングにおけるWebの活用について知り、Webマーケターとしてそれぞれのマーケティングの方法にあったWebページの構成やランディングページの構成ができ、その結果がどのようなようになったのかを分析することについて学びます。			
到達目標	Webマーケティングに関する基本知識を習得します。			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	マーケティングとは①		
	2	広告とは①		
	3	Webマーケティングとは①		
	4	Webマーケティングとは②		
	5	分析手法①		
	6	分析手法②		
	7	分析手法③		
	8	Google Analyticsとは①		
	9	Google Analyticsとは②		
	10	Google Analyticsとは③		
	11	総合演習①		
	12	総合演習②		
	13	総合演習③		
	14	総合演習④		
15	総合演習⑤			
授業の進め方・履修の心構え	実際の企業がどのようなWebマーケティングしているか参考にしながら学んでいきます。Webの管理・運営を主体とする職種を目指す学生は受講してみてください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成度			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	3Dグラフィック	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	無	
授業・科目情報				
学習目的	Blenderを使用した3Dモデル制作を学習します。まずは基礎的な内容から始め、レンダリングやアニメーション等の3Dモデリングには欠かせない技術を学習します。			
到達目標	基本的な3D技術の理解及び習得を目標とする。			
教科書・教材	Blender2.8 3DCGスーパーテクニク/㈱ソーテック社			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・Blenderの基本操作		
	2	制作工程とモデリング		
	3	モデリング		
	4	モデリング		
	5	モデリング・マテリアル		
	6	テクスチャ		
	7	レンダリング		
	8	キャラクター・セットアップ		
	9	アニメーション		
	10	アニメーション		
	11	復習と自由制作準備		
	12	自由制作		
	13	自由制作		
	14	自由制作		
15	制作物発表および評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、問題解答と演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	CSS・WebSite構築	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	スマートデバイスが普及しWebの利用形態も多様化しています。様々なデバイスに対応可能なWebデザイン手法について、実践を通して学びます。			
到達目標	ゼロから自分でデザインしWebサイトを構築できる			
教科書・教材	Adobe XDではじめるWebデザイン&プロトタイピング 一歩先行く現場のスキル/翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	Webデザインのための環境構築		
	2	ワイヤーフレーム作成方法		
	3	既存のサイトからワイヤーフレーム作成		
	4	ワイヤーフレームからWebレイアウト作成演習		
	5	ワイヤーフレームからWebレイアウト作成演習		
	6	デザインカンパ作成方法		
	7	作成したワイヤーフレームからデザインカンパ作成		
	8	作成したワイヤーフレームからデザインカンパ作成		
	9	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	10	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	11	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	12	オリジナルWebページ構築～ワイヤーフレーム作成・カンパデザイン作成		
	13	オリジナルWebページ構築～カンパデザイン作成		
	14	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング		
15	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング			
授業の進め方・履修の心構え	adobeXDの使い方を学び、ゼロからデザインを作成しそこからWEBサイト作成することができるようになっていきます。コーディングを正確に行えるようにします。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	AI概論 II	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	無	
授業・科目情報				
学習目的	AIの基礎知識の復習からAIの利用目的、各種開発・研究におけるAIの利用を学びます。			
到達目標	AIの利用方法・開発・研究分野の考え方・実際の応用例を理解する。			
教科書・教材	基礎から学ぶ 人工知能の教科書 / オーム社			
授業計画	回	内 容		
	1	人工知能の概要		
	2	人工知能の歴史		
	3	機械学習の原理と方法		
	4	機械学習の手法		
	5	知識表現と推論		
	6	ニューラルネットワーク		
	7	深層学習		
	8	進化的計算と群知能		
	9	自然言語処理		
	10	画像認識		
	11	エージェントと強化学習		
	12	人工知能とゲーム		
	13	人工知能のこれから		
	14	人工知能の応用例		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「AI概論 I」からの継続科目になります。テキストとスライドを利用して学習していきます。Pythonを用いた実装なども行います。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Word演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Wordの基礎となる設定を理解し、ビジネス文書や見栄えのする文書を作成・編集するための高度な技術を学習していきます。さらにもう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	高度な編集技術を身に付け、文書処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Wordマスター演習問題集／ムゲンダイ出版 2019対応Word文書処理技能認定試験1・2級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	入力練習と文書編集		
	2	段落書式		
	3	表の挿入と編集		
	4	差し込み印刷		
	5	ヘッダー・フッター		
	6	スタイル		
	7	グラフィックスの挿入		
	8	相互参照・目次・索引		
	9	変更履歴とコメント		
	10	検定試験対策 1 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	11	検定試験対策 2 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	12	検定試験対策 3 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	13	検定試験対策 4 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	14	検定試験対策 5 (知識・実技問題の実施及び解説)		
15	検定試験対策 6 (知識・実技問題の実施及び解説)			
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらWordを使いこなす応用力や考える力を養います。 1級取得を目指してほしいです。			
目標資格	Word文書処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ビジネスマナーⅠ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ビジネスマナーの基本を身につけて、時間的にも心にも余裕をもって就職活動を行うことを目的とします。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自信をもって就職活動を行える。 2. 就職活動の手順を理解できる。 			
教科書・教材	入社1年目ビジネスマナーの教科書／プレジデント社小学生の書き取りノート			
授業計画	回	内 容		
	1	第1章 ビジネスマナーの基本1～姿勢、服装、心構え		
	2	第1章 ビジネスマナーの基本2～言葉遣い、気遣い、あいさつ		
	3	第2章 コミュニケーションの基本		
	4	第6章 報告・連絡・相談の基本		
	5	第3章 話し方・聞き方		
	6	第5章 敬語の基本		
	7	実践練習1 コミュニケーション練習		
	8	第9章 ビジネス文書の基本		
	9	第10章 ビジネスメールの基本		
	10	第4章 電話応対		
	11	第8章 会社訪問の基本		
	12	実践練習2 メールから応募書類の送付まで		
	13	実践練習2 メールから応募書類の送付まで		
	14	実践練習3 アポイントメントから会社訪問まで		
15	実践練習4 就職試験			
授業の進め方・履修の心構え	毎週10分間ずつ書き方練習を行う。 毎週小テストを実施する。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	一般教養Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目では、日常生活における一般的な知識を再確認し、身近な北海道についても取り上げ学習します。数学、理科、地理、歴史、英語、国語など幅広い分野について知識を覚えていきます。			
到達目標	就職試験におけるの筆記および面接に役に立つ一般常識を身につける。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	グループワーク		
	2	数学		
	3	社会 (地理)		
	4	英語		
	5	グループワーク		
	6	国語 (作文)		
	7	グループワーク		
	8	社会 (歴史)		
	9	数学		
	10	英語		
	11	グループワーク		
	12	数学		
	13	国語		
	14	総合演習		
15	総合演習			
授業の進め方・履修の心構え	就職活動におけるの基礎的な知識の学習になるため、しっかりと身につくよう復習をすることが大切です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	国家試験対策 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策 I」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに午後問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	2	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	3	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午後問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	5	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策 I」を履修したことが条件になります。午前問題よりさらに専門的な知識を求められるので、今まで学習した基礎知識の復習が大切になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	コミュニケーションⅡ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職試験対策講座であるとともに、システムや作品を上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方なども学びます			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	きれいな発声・発音を身につけよう		
	2	正しい日本語を身につけよう		
	3	話すときの心構えを理解しよう①		
	4	話すときの心構えを理解しよう②		
	5	効果的な表現力を身につけよう		
	6	効果的な話し方を身につけよう①		
	7	効果的な話し方を身につけよう②		
	8	ワークショップで学ぶためのルール		
	9	コミュニケーションの基礎知識 (組織・団体) ①		
	10	コミュニケーションの基礎知識 (組織・団体) ②		
	11	ビジネスコミュニケーションの技術①		
	12	ビジネスコミュニケーションの技術②		
	13	ビジネスコミュニケーションの技術③		
	14	総合演習①		
15	総合演習②			
授業の進め方・履修の心構え	日常で当たり前に行っている会話の「話す」「聞く」の基本を学びます。言葉の力や伝える力を学ぶので楽しく参加してください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	グループワークⅢ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	全学科、全学年を在校生全員を対象して開講。システムや作品を作り上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	自己紹介		
	2	グループワーク①		
	3	グループワーク①		
	4	プレゼンテーション		
	5	グループワーク②		
	6	グループワーク②		
	7	グループワーク②		
	8	プレゼンテーション		
	9	グループワーク③		
	10	グループワーク③		
	11	プレゼンテーション		
	12	グループワーク④		
	13	グループワーク④		
	14	グループワーク④		
15	プレゼンテーション			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	JSP・Servlet演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	JSPおよびサーブレットを利用し、Webアプリケーションの仕組みを学びます。アプリケーションサーバーには、入手しやすくインストールも簡便なApache Tomcatを使用します。独自で簡単なアプリケーションを開発します。			
到達目標	与えられた課題について、設計、プログラミング、テストの全ての開発工程を実施することによって、システム構築の手順を把握します。プログラミングだけではなく、システム開発の上流工程から参画できるようにし、就職後、即戦力になるような基礎能力を身に付けることを目標とします。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP新版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内容		
	1	システム開発手法の概要		
	2	基本設計の演習		
	3	画面設計の演習		
	4	画面設計の演習		
	5	データベース設計の演習		
	6	レビューの実施		
	7	プログラミング		
	8	プログラミング		
	9	プログラミング		
	10	プログラミング		
	11	単体テストの実施		
	12	単体テストの実施		
	13	結合テストの実施		
	14	成果物のまとめ		
15	プレゼンの実施			
授業の進め方・履修の心構え	独自でプロジェクトの設計から開発及びテストまでの一連の開発工程をこなす技能を身に付けることを前提とします。前期で学んだJSPおよびサーブレットの基礎知識を応用し、実際に簡単なプロジェクトを開発していきます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	サーバ基礎	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	サーバに関する基礎知識から始め、ネットワークやセキュリティとの関わり、サーバの種類や役割について学んでいきます。実機を用いた学習により、クライアントとサーバとの違いや設定方法について理解を深めます。			
到達目標	サーバについての基礎知識の習得、ネットワークやセキュリティとの関わり方の理解			
教科書・教材	おうちで学べるサーバのきほん／(株)翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	サーバー基礎		
	2	サーバー基礎		
	3	様々なサーバの役割について		
	4	様々なサーバの役割について		
	5	コンピュータのハードウェアについて		
	6	コンピュータのハードウェアについて		
	7	コンピュータのハードウェアについて		
	8	OSとサービスプログラム		
	9	サーバーとネットワークの関係		
	10	サーバーとネットワークの関係		
	11	サーバ管理とセキュリティ		
	12	サーバ管理とセキュリティ		
	13	サーバの保守・運用について		
	14	サーバの保守・運用について		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	システム検証 II	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	システム開発をする際、設計時には多くのドキュメントを作成します。本科目では、開発時の設計書を元に制作物をトレースしていきます。目の前で実行されているシステムにはどんな画面遷移があるのか、どれだけのプログラムが書かれているか、システムを追いかけながら検証していきます。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存コードから、そこに至るまでの工程を理解し、仕様を書き起こせること。 ・ テスト手法を理解しテストできること。 ・ 部分的な設計書（外部。内部）を作成できること。 			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	開発の流れの理解・要件定義の理解		
	2	既存コードから要件定義書の書き起こし		
	3	外部設計の理解		
	4	既存画面から外部設計書の作成		
	5	結合テストの理解		
	6	結合テストの実行とバグレポートの作成		
	7	内部設計の理解		
	8	既存コードから内部設計書の作成		
	9	設計書からコードの書き起こし		
	10	単体テストの理解と実行		
	11	単体テストの実行		
	12	【実習】要件定義の理解と外部・内部設計書作成		
	13	【実習】要件定義の理解と外部・内部設計書作成		
	14	【実習】要件定義の理解と外部・内部設計書作成及びコーディング		
15	成果物の提出 認定試験			
授業の進め方・履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・ やや複雑なWebアプリケーションからバグを探し報告書を作成するところから始める ・ 外部設計及び内部設計の書き方を理解 ・ SEの仕事の一部を理解する 			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	システムマネジメント	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>実際の開発業務はチームで実施されます。一人で行う場合にもスケジュール管理は行いますが、チームの場合は、緊密なコミュニケーション、お互いの進捗に合わせた作業管理、作ったものの結合タイミングなど、考慮すべきことが多くあります。この作業を実践し、プロジェクトマネジメントのノウハウを学習します。</p>			
到達目標	<p>プロジェクトに関する、企画・提案・見積・スケジュールのノウハウを身につける。</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	プロジェクトマネジメントとは		
	2	企画・提案の手法、考え方		
	3	見積の手法、考え方		
	4	スケジュール・タスクの手法、考え方		
	5	資料のまとめ方		
	6	企画・提案① (立案)		
	7	企画・提案② (立案)		
	8	企画・提案③ (立案/資料作成)		
	9	企画・提案④ (資料作成)		
	10	企画・提案⑤ (資料作成)		
	11	見積① (資料作成)		
	12	見積②・スケジュール① (資料作成)		
	13	スケジュール②・纏め① (資料作成)		
	14	纏め②・プレゼンテーション①		
15	プレゼンテーション②			
授業の進め方・履修の心構え	<p>架空の会社をベースに、実際のプロジェクト同様な企画・提案・見積・スケジュールを考えていく。様々な視点でPDCAを続けていく。</p>			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成度</p>			
評価基準	<p>S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点</p>		<p>C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ゲーム制作II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ゲーム制作Iで身につけた基礎知識と技術を用い、3Dゲーム制作の手法を学習します。制作を行う上で必要な技術の向上とより幅広い知識の定着を図ることによって、ゲーム制作IIIと総合制作で役立つベースを築くことを目的とします。			
到達目標	・基本的な3Dゲーム制作技術の理解及び習得を目標とする。			
教科書・教材	楽しく学ぶ Unity 3D超入門講座／(株)マイナビ出版			
授業計画	回	内容		
	1	ガイダンス・3D空間		
	2	スクリプト		
	3	衝突		
	4	ジャンプとプレイヤー視点		
	5	シーンの切り替え・プレハブ		
	6	ナビメッシュ		
	7	アニメーション		
	8	ムービー		
	9	小テスト・復習とオリジナルゲーム課題制作準備		
	10	オリジナルゲーム課題制作		
	11	オリジナルゲーム課題制作		
	12	オリジナルゲーム課題制作		
	13	オリジナルゲーム課題制作		
	14	オリジナルゲーム課題制作		
15	制作発表及び評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 課題の提出状況および完成度 (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	グラフィック応用Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	これまで「2Dグラフィック」、「3Dグラフィック」で学習した基礎知識をもとに、より洗練されたデザインテクニックについて学習します。人を惹きつけるデザインや自分の目的を相手に伝える手法を学びながら、自分のオリジナルデザインを制作します。			
到達目標	より複雑なデザインテクニックの手法を理解し、それをもとに自分の伝えたい内容をデザインに表現することを目標とします。			
教科書・教材	Photoshop&illustratorデザインテクニック大全／SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	より複雑なデザインテクニックとは		
	2	より複雑なデザインテクニックとは		
	3	オリジナルテーマ設定		
	4	オリジナルテーマ設定、ラフ画作成		
	5	ラフ画作成、レビュー		
	6	レビュー後修正、基本デザイン構成の決定		
	7	基本デザイン構成の決定		
	8	デザイン作成		
	9	デザイン作成		
	10	デザイン作成		
	11	デザイン作成		
	12	レビュー		
	13	レビュー後修正、デザイン完成		
	14	発表資料準備		
15	オリジナルデザイン発表			
授業の進め方・履修の心構え	最初にデザインテクニックについて教科書をもとに学習し、以降は自分の表現したいものをデザインしていきます。自由な発想力をもって取り組みましょう。			
目標資格	illustratorクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	HTML応用 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	webサイトにおいて動きのあるサイトを作成する方法を学びます。 そのために必要なJavaScriptの基礎知識とjQuery、CSSを学びます。			
到達目標	WEBサイトに様々な動きやデザインを組み込むことができるようになり、それを活用してサイトを構築する。			
教科書・教材	確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	JavaScriptの環境構築と基本文法		
	2	JavaScriptの基本文法		
	3	JavaScriptのイベントとオブジェクト		
	4	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	5	jQueryについて/ナビゲーションメニューやアニメーション		
	6	jQuery演習①/実装したい動きをjQueryで表現		
	7	jQuery演習②/実装したい動きをjQueryで表現		
	8	jQuery演習③/実装したい動きをjQueryで表現		
	9	オリジナル作品制作①/企画・構成		
	10	オリジナル作品制作②/デザインカンプ		
	11	オリジナル作品制作③/サイト制作		
	12	オリジナル作品制作④/サイト制作		
	13	オリジナル作品制作⑤/サイト制作		
	14	オリジナル作品制作⑥/サイト制作		
15	オリジナル作品制作⑦/サイト制作・提出・品評			
授業の進め方・履修の心構え	最初は教科書に沿って基礎的なことを学び、演習で自分で調べて実装する力を身に着ける。学んだことを生かしてオリジナルページを0から作成する。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	AIプログラミング I	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	無	
授業・科目情報				
学習目的	Pythonは、AIに関連の言語として人気が出てきているプログラミング言語です。Pythonを学ぶための準備からプログラムの書き方、基本文法、制御構文、関数までの基礎学習、簡単なアプリの制作や機械学習を体験演習を行い、初級Pythonエンジニアを目指します。			
到達目標	Pythonの基礎構文を理解し、プログラムが組めるようになる。			
教科書・教材	新しいPythonの教科書/SCC			
授業計画	回	内 容		
	1	Pythonの概要		
	2	学ぶための準備と基本文法		
	3	変数とデータ型		
	4	演算子		
	5	リスト		
	6	制御構文		
	7	関数		
	8	基本演習		
	9	オブジェクト指向プログラミング①		
	10	オブジェクト指向プログラミング②/ライブラリの活用①		
	11	ライブラリの活用①		
	12	総合演習①		
	13	総合演習②		
	14	機械学習①		
15	機械学習②			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。Javaが苦手でもPythonだとわかることがあるので、プログラミング言語を苦手でもプログラミングの楽しさ、奥深さを学んで欲			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	Access演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	データベースの基本から「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」といった主要機能、関数やマクロまでを、データベースの活用事例を通じて、実務レベルにおけるAccessの利用方法・操作技法を習得します。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	Accessの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、ビジネスデータベース技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Access 2019 テキスト基礎編／ムゲンダイ出版 2019対応Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	Accessの基礎		
	2	テーブル作成と編集		
	3	フォーム作成と編集		
	4	クエリ 1		
	5	クエリ 2		
	6	クエリ 3		
	7	クエリ 4		
	8	リレーションシップ		
	9	レポート作成と編集		
	10	サブフォームとサブレポート		
	11	マクロ		
	12	検定試験対策 1		
	13	検定試験対策 2		
	14	検定試験対策 3		
15	検定試験対策 4			
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 学習内容が多く進み方も早いです。欠席しないようにしてください。			
目標資格	Accessビジネスデータベース技能認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	プレゼンテーション I	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目では、PowerPointの基礎的な使用方法、活用方法を学習します。また実践（準備・発表・評価）を通して、コミュニケーション能力および自己表現能力を高め、就職試験や面接に向けた対策を行います。</p>			
到達目標	<p>就職活動開始時に自己紹介と自己アピールができる</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介・科目説明		
	2	プレゼンテーションの定義・目的		
	3	プレゼンテーションの基本的な作り方		
	4	伝わる資料とは		
	5	資料が見やすくなるデザインの基本～文字・文章・配置①～		
	6	資料が見やすくなるデザインの基本～文字・文章・配置②～		
	7	資料が見やすくなるデザインの基本～色・強調～		
	8	表現のテクニック～文章・グラフ～		
	9	表現のテクニック～作図～		
	10	わかりやすい話の構成の仕方		
	11	話し方の基本		
	12	伝わる話し方とは		
	13	視線・ボディコントロールについて		
	14	実戦課題①		
15	実戦課題②			
授業の進め方・履修の心構え	<p>プレゼンテーションをすることの目的を理解し、相手に伝えるとはどういうことかを考えることが重要です。</p>			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) プレゼンによる評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点</p>		<p>C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	就職準備	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	4 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職準備のための授業です。講座の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけではなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	来年春休み前から就職活動を開始し、早期内定取得			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	就職について／自分史の作成		
	2	自分史の作成／作文		
	3	自己分析		
	4	自己分析／求人倍率とは		
	5	自己分析／仕事について		
	6	業界・企業研究		
	7	給与・税金・保険料・年金について		
	8	就職活動準備計画／IT業界について		
	9	履歴書作成		
	10	履歴書作成		
	11	履歴書作成		
	12	履歴書作成		
	13	面接練習		
	14	面接練習		
15	面接練習			
授業の進め方・履修の心構え	早期内定獲得に向け、言われてやるのではなく自主的な姿勢で臨みましょう。就職活動に必要な物は、本番がスタートする前に用意しておきましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	一般教養 II	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目では、主に就職試験対策を行います。筆記試験、適性検査に出題されやすい一般常識問題や、漢字書き取り、計算問題、SPI問題について学習します。			
到達目標	就職試験において、筆記試験50点(半分)以上を取得できる。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	分数と漢字の書き取り		
	2	分数と漢字の書き取り		
	3	割り算と日本語(文章の作り方)		
	4	割り算と日本語(表現方法)		
	5	割り算と漢字の書き取り		
	6	SPI(数列、確率)と漢字の書き取り		
	7	SPI(組み合わせ、流水算)と漢字の書き取り		
	8	SPI(基数変換)と漢字の書き取り		
	9	脳トレイ(四角に分ける、推測)と漢字の書き取り		
	10	脳トレイ(ナンプレ、道を作る)と漢字の書き取り		
	11	SPI(魔法陣、多角形)と漢字の書き取り		
	12	SPI(推理、論理)と漢字の書き取り		
	13	脳トレイ(数当て、数字ブロック)と漢字の書き取り		
	14	SPI(塩分計算、速度計算)と漢字の書き取り		
15	総合テスト			
授業の進め方・履修の心構え	「一般教養 I」を履修したことが条件となります。より実践向きの学習のため、課題はもちろん自身の積極性がより求められます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	国家試験対策Ⅲ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策Ⅱ」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに午後問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	2	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	3	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午後問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	5	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策Ⅱ」を履修したことが条件になります。わからない箇所を明確にし、自分の苦手分野を理解して学習を行うことが重要になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	グループワークⅣ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	全学科、全学年を在校生全員を対象して開講。システムや作品を作り上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います。			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	自己紹介		
	2	グループワーク①		
	3	グループワーク①		
	4	プレゼンテーション		
	5	グループワーク②		
	6	グループワーク②		
	7	グループワーク②		
	8	プレゼンテーション		
	9	グループワーク③		
	10	グループワーク③		
	11	プレゼンテーション		
	12	グループワーク④		
	13	グループワーク④		
	14	グループワーク④		
15	プレゼンテーション			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点</p>		<p>C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	MCP受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点</p>		<p>C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	MOS受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
15	問題の内容理解と練習 (Access)			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	